

関係国公立大学長
関係機関の長 殿

国立大学法人高知大学長
脇口 宏 (公印省略)

教員公募について (依頼)

このたび、国立大学法人高知大学では平成28年4月から農学部農学科を海洋資源系教育組織である海洋資源科学科の新設を含む農学海洋科学部（農林資源環境科学科、農芸化学科、海洋資源科学科）へ改組することを計画しており、下記の要領で教員を公募いたします。（組織名称はすべて仮称）

つきましては、この旨を関係者に広くお知らせいただきたく、よろしくお取り計らいくださるようお願い申し上げます。

記

1. 農学海洋科学部海洋資源科学科のコンセプト

農学海洋科学部では、学部改組により、「陸域」から「海域」における様々な課題に関する社会からの要請に対して、総合的な教養と専門的知識・技術、俯瞰力を持って主体的に取り組める人材を育成します。

そのうち海洋資源科学科では、「海洋生物生産学」、「海底資源環境学」、「海洋生命科学」の3コースを設置し、天然資源の維持管理・有効利用に関連して3コースが有機的に連携・機能することで、多様化・複雑化する諸課題の解決に対応でき、地域社会や国際社会で活躍できる「海洋専門人材」を育成します。

このような海洋資源管理に関する知識を基礎として、海洋資源を生産・活用するための専門的知識（海洋生物生産学コース）、海底資源の有効活用あるいはそれに伴い生じる海洋環境の維持や保全に関わる諸問題を解決できる専門的知識（海底資源環境学コース）、海洋微生物等未利用海洋生物資源を探索し、化学的な見地から検証するための専門的知識（海洋生命科学コース）をそれぞれのコースで身につけさせることとしています。

このような教育課程を経ることで、地域に根付きかつ国際的視野を有した「海洋専門人材」を育成することを教育理念とします。生物学、化学、地学、物理学の分野から多面的に「海洋資源」をとらえることができ、さらに海洋資源の維持・管理に関する知識、海洋法規など人文社会的な観点、科学技術の社会還元不可欠な合意形成に関する知識を有する人材を育成できる学科は、全国で唯一のものです。

2. 職名・人員 准教授 1名

3. 担当学部 農学海洋科学部海洋資源科学科海底資源環境学コース（仮称）

※ なお、本学教員は教育組織と分離した教員組織（教育研究部の学系・部門）に所属することとしており、本公募に当たっては、選考後に研究分野等に応じ、学系・部門を確認することとします。

4. 専門分野 海底資源開発に関わる現場化学計測とその関連分野。特に、フィールド調査・解析を基本的な手法とした海底鉱物資源の生成過程解析や資源開発に伴う海洋化学モニタリング分野

5. 担当授業科目 現場化学計測、海洋環境アセスメント学、海底資源学演習Ⅰ、Ⅱ、化学概論Ⅰ、海洋科学概論（分担）、フィールドサイエンス実習（分担）、卒業論文演習Ⅰ、Ⅱ、卒業論文、理科教員免許（特に物理、化学、地学）に関わる教育科目等の専門科目、共通教育科目等。

6. 応募資格

- (1) 博士の学位を有する者。
- (2) 本学大学院において、研究指導及び講義が担当できる者。
- (3) 海底資源開発に関わる現場化学計測とその関連分野。特に、フィールド調査・解析を基本的な手法とした海底鉱物資源の生成過程解析や資源開発に伴う海洋化学モニタリングができる者。
- (4) 多様な研究機関等と教育・研究・社会貢献において連携することができる者。
- (5) 学部大学院の授業及び研究指導を英語で行うことができ、国際的な視点で教育研究ができ

る者。

- (6) 地域貢献や全学的な教育プログラムに積極的に取り組むことができる者。
- (7) 教育研究とともに、管理運営等の学内業務に積極的に取り組むことができる者。
- (8) 科学研究費助成事業を含む外部資金に代表者として応募することができる者。

7. 応募期限 平成27年2月18日(水) (17時必着)
8. 採用予定日 平成27年4月1日以降、なるべく早い時期
9. 選考方法 (1) 一次選考 提出された書類により候補者を選考する。
(2) 二次選考 一次選考を通過した候補者について、本学の学生に講義することを想定した模擬授業(自身のこれまでの研究内容もしくは担当授業科目に関する内容で、30分間程度)及び面接(平成27年2月28日、3月1日を予定)を行い、その際に教育能力等を審査する。詳細は別途候補者に連絡する。(旅費は自己負担)
10. 提出書類 (1) 履歴書(様式1)
(2) 研究業績書(様式2)
学術論文(査読の有無を区分すること)、総説、著書、特許、国際会議のPROCEEDINGS等
(3) 主要論文等5報の別刷(各6部、コピー可)
(4) 過去(5年程度)の研究実績及び教育実績(例:学部・大学院における過去の担当授業科目等)並びに社会貢献に関する業績一覧表(A4用紙、様式・長さ自由)
(5) 今後の研究・教育・地域貢献及び管理運営についての計画や抱負(A4用紙各1,500字程度、様式自由)
(6) 研究航海実績等、その他参考となる資料
※ 提出書類の(1)及び(2)の様式1・2は、本学のホームページからダウンロードすること。
<http://www.kochi-u.ac.jp/outline/other/saiyou/>
※ 審査終了後に(3)主要論文等は返却するので、応募書類返送用封筒(返送先明記)を同封すること。
11. 給与等 年俸制を適用。給与は、「国立大学法人高知大学年俸制適用職員給与規則」による。
12. その他 高知大学では、男女共同参画推進室(<http://www.kochi-u.ac.jp/sankaku/>)を設置して女性研究者支援を推進しており、教員公募においても女性研究者の積極的な応募を歓迎します。
13. 提出先 〒783-8502 高知県南国市物部乙200 (電話 088-864-5114)
高知大学農学海洋科学部海洋資源科学科(現場化学計測)教員選考委員会委員長宛
なお、提出書類は「簡易書留」とし、封筒に「教員応募(農学海洋科学部(現場化学計測))関係書類在中」と朱書きのこと。
- ※ 照会先 ご不明な点の問合せ先: 高知大学教育研究部自然科学系理学部門
教授 村山雅史 (e-mail: murayama@kochi-u.ac.jp)
教員公募全般に関すること: 物部総務課総務係 (e-mail: km03@kochi-u.ac.jp)
給与等に関すること: 人事課人事管理係 (e-mail: kj07@kochi-u.ac.jp)